平和・民主・革新の日本をめざす郡山の会　　２０２２年３月

郡山市 革新懇ニュース 234

発行：郡山市革新懇事務室　Mail：ugp25200@nifty.com

反戦訴える抗議デモ

ウクライナ侵略

２６日午後一時から郡山駅前西口にて、こおりやま共同センターが抗議の街宣を行いました。ウクライナでは２４日にロシア軍が侵攻を開始して以来、多くの市民が犠牲になっています。

核兵器の脅威に世界が晒されています。これ以上、ウクライナ市民の命が失われないよう、直ちに停戦すべきです。ロシアの蛮行を許さぬ国際世論が大切です。

DAPPE は２７日と３日に街宣し、憲法改正反対の署名と戦争終結を求める AVAAZ オンライン署名への協力を求めました。

AVAAZ 署名サイト

27 日の街宣は SNS で参加が呼びかけられ、50 名の市民が参加しました。

２月２５日、ALPS 処理水海洋放出に関する「安全偏重チラシ」の回収を市長に申し入れました。また、３月７日に海洋放出設備に関する「事前了解願」に係る意見書を県に提出するよう市議会へ請願しました。請願書は QR CODE からご覧下さい。

［請願に参加した市民団体］

・郡山五中 OB 有志の会　・郡山市革新懇
・郡山復興共同センター　・これ以上海を汚すな市民会議　・社会民主党福島県連合
・郡山地方労平和フォーラム　・福島県退職教職員協議会郡山支部　・福島県教職員組合郡山支部　・市民立法「チェルノブイリ法日本版」をつくる郡山の会

コロナ禍の中 演劇文化の灯を消すな！

2003 年、「有事法制」が成立する前、郡山革新懇は市民への共同アピールを出しました。郡山の文化人を中心に思想信条立場の違いを超えてポスターにも登場してもらいました。「共産党を除く」が合言葉のように喧伝され、反共攻撃が強く持ち込まれ、革新分断攻撃がされているさなかでした。この取り組みは、故太田緑子さんを中心にあらゆる立場の人たちが呼びかけ人となった「郡山市九条の会」、前県知事佐藤栄佐久さんを顧問に結成された原発廃炉の会、また、沖縄と連帯する郡山の会など戦争は絶対に許さない、暮らし、民主主義を守るの一点で市民の共同が作られてきました。

有事法制から安保法制、そして、集団的自衛権、敵基地攻撃とますますエスカレートする政治勢力に対して、市民と野党共闘で政治を変える、社会歩をはかる底力が作られてきていると思います。「１月の参議院選を前に、また反共攻撃を持ち出し革新共闘分断が試みられていますが、それはもう成功させない革新懇運動の前進をつくりましょう。

です。このような関係は世界に類を見ません。

劇団・創造団体の皆さんも私たちと同じく試練と模索の日々が続いています。

鑑賞会は、演劇文化の裾野を広げ、劇団を支える存在となっています。

力をひとつに劇場の灯をともし続けましょう。

舞台から発せられる心に残る「セリフ」や「うたごえ」に、少しでも未来への希望を抱ける心持になるものです。

あるがままの日常こそが人生の宝物、年に５～６回の観劇の機会は、私たちの心を豊かにし生きる喜びを感受し、舞台との出会いを心待ちにさせてくれます。私たちは、これからも観劇の歓びをより多くの会員と共有して進んで行きたいと思います。ご入会をお待ちしております。

郡山演劇鑑賞会会長　国分重信

郡山演劇鑑賞会
TEL024-938-9019
11 時～17 時（火～金）

第４３回　憲法を考える郡山市民のつどい

講演　前川喜平 氏（元文部科学省事務次官）

５月３日　１０時～

会場：郡山市中央公民館多目的ホール

資料代　３００円